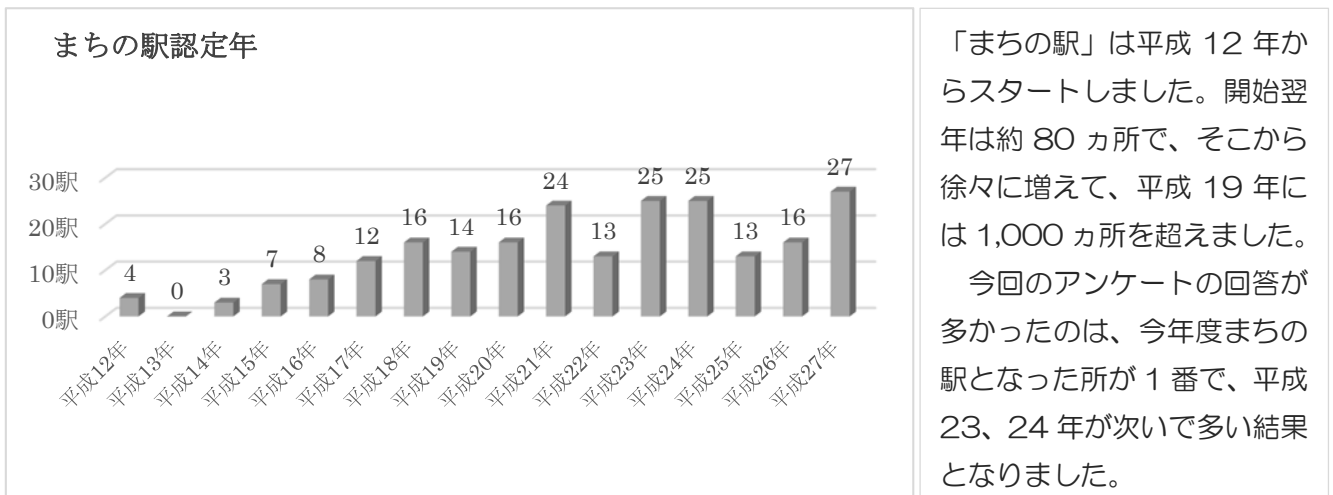


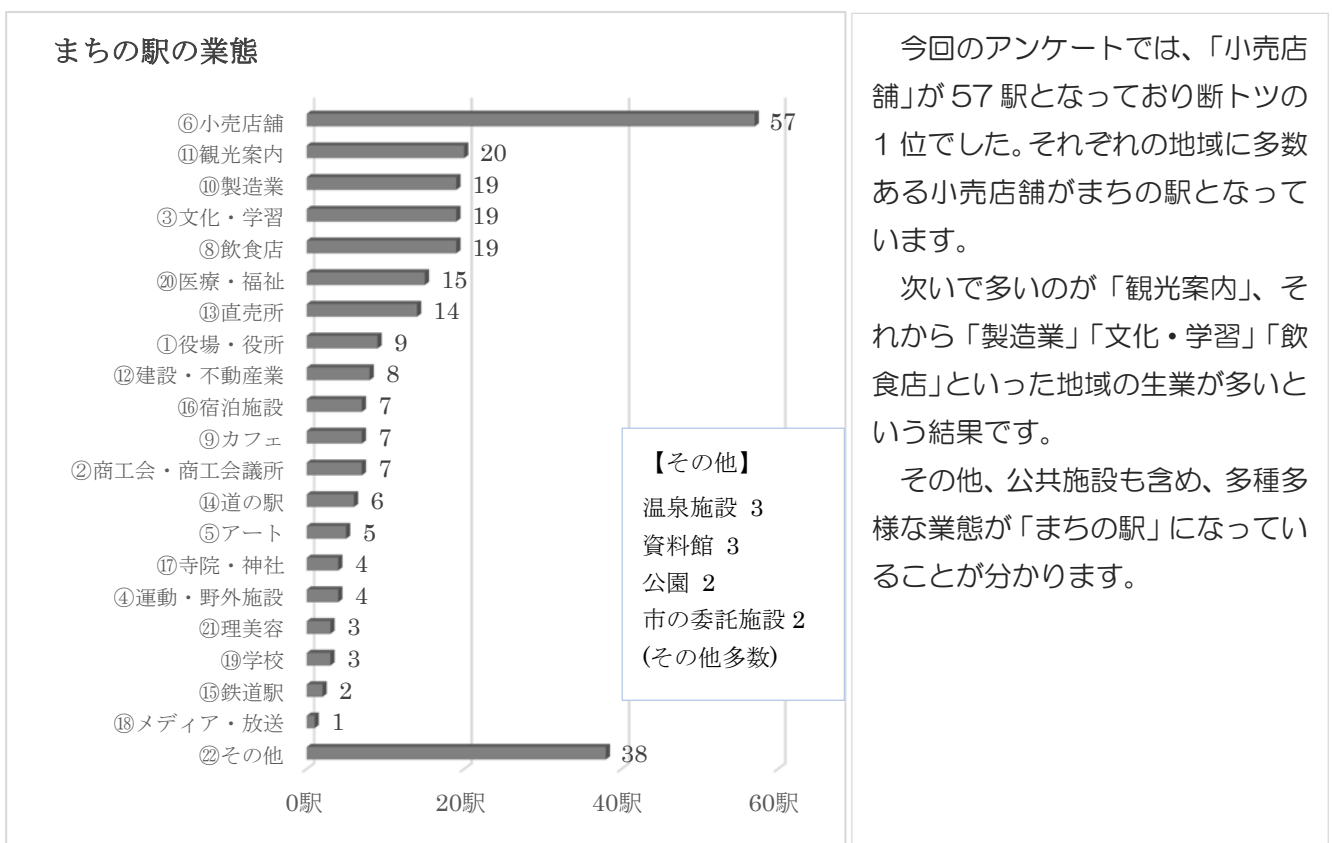
全国まちの駅 調査アンケート 結果報告

まちの駅は全国に 1600 カ所近くあり、その中には様々な業態の施設・建物があります。各まちの駅では、トイレや休憩スペースを提供したり、地域の案内や情報の発信などをしたり、地域の中で、交流の場・地域を元気にする活動を、身の丈に合わせて行っております。そこで、その実態を把握するために、アンケート調査をさせていただきました。平成 28 年 1 月 27 日付けで 1520 箇所のまちの駅に送付し、255 箇所から回答いただきました（回答率 16.8%）。以下、アンケート結果を報告いたします。

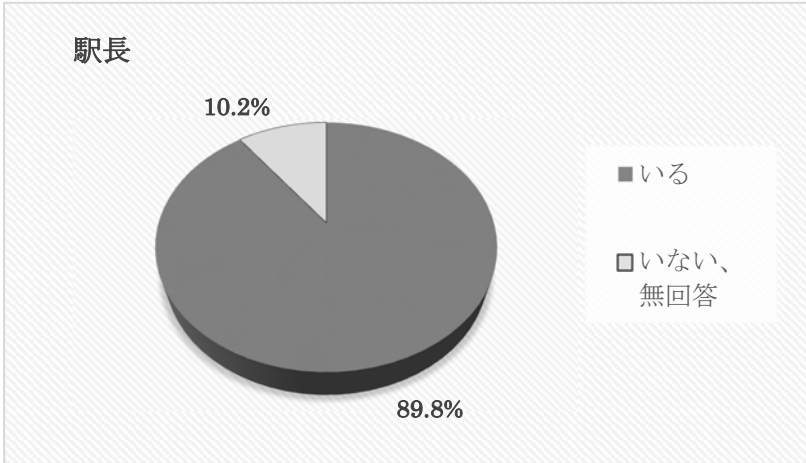
1. 貴施設がまちの駅の認定を受けたのは、平成何年ですか。（回答数 223 駅 平成 11 年以前除く）



2. 貴施設の業態は何ですか。主として当てはまるもの 1 つに○をつけてください。（回答数 255 駅 複数有）



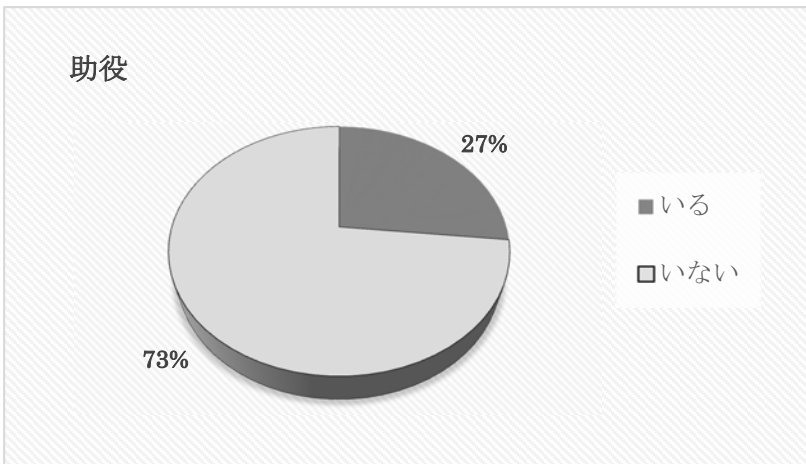
3. 駅長、助役、まちの案内人は何名ですか。(回答数 255 駅)



まちの駅では、認定申請時に「駅長」の登録をしております。ただ、施設によっては事情により、「駅長」が常勤しておらず、「まちの案内人」のみがいる場合もあるようです。

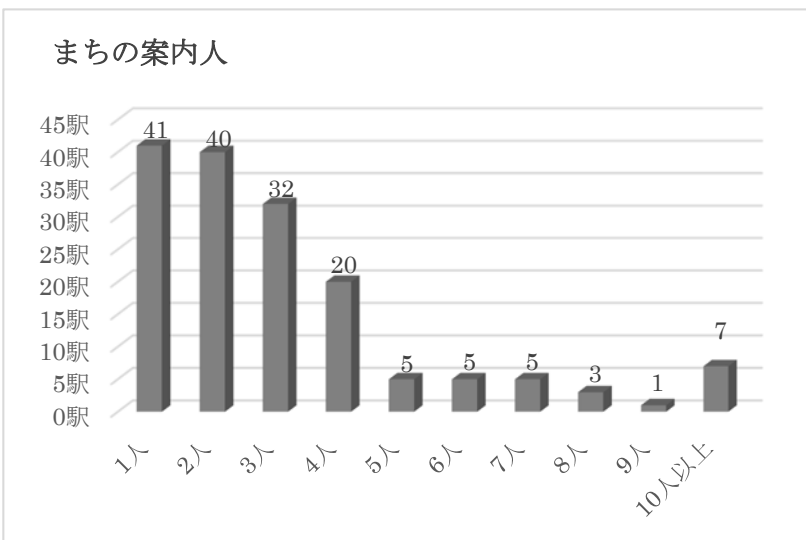
アンケートでは、9割の施設で「駅長」がいるという回答をいただきました。

1人…226駅 2人…1駅 5人…1駅



まちの駅では、特に助役を置く決まりにはなっていませんが、駅長を補佐したり、駅長が不在の時の代理となる人を「助役」としておいているという回答が、1/4以上という回答でした。地域のネットワークによっては、推奨している所もあるようです。また、助役5人のまちの駅では、案内人の代わりに助役と呼んでいるようです。

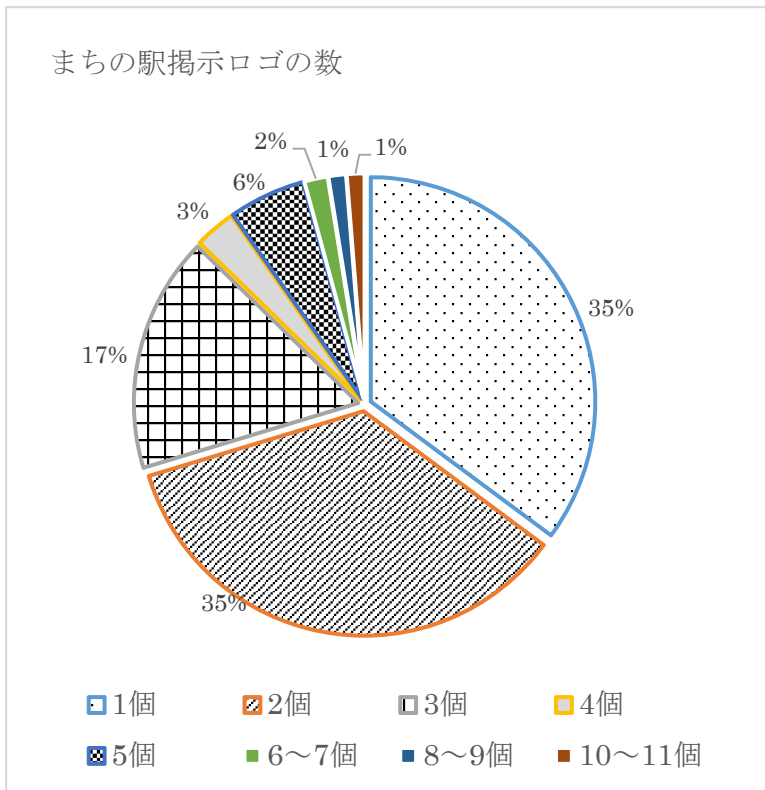
1人…57駅 2人…7駅 3人…2駅
4人…1駅 5人…1駅



「まちの案内人」は、来店したお客様などにその地域の観光スポットやお薦めのお店などの案内をするなど、その施設ならではのおもてなしを提供します。

アンケート結果からは、1人や2人が多かった一方で、10人以上というまちの駅もありました。

4. 貴施設ではまちの駅のロゴマークをいくつ掲示していますか。(回答数 238 駅)

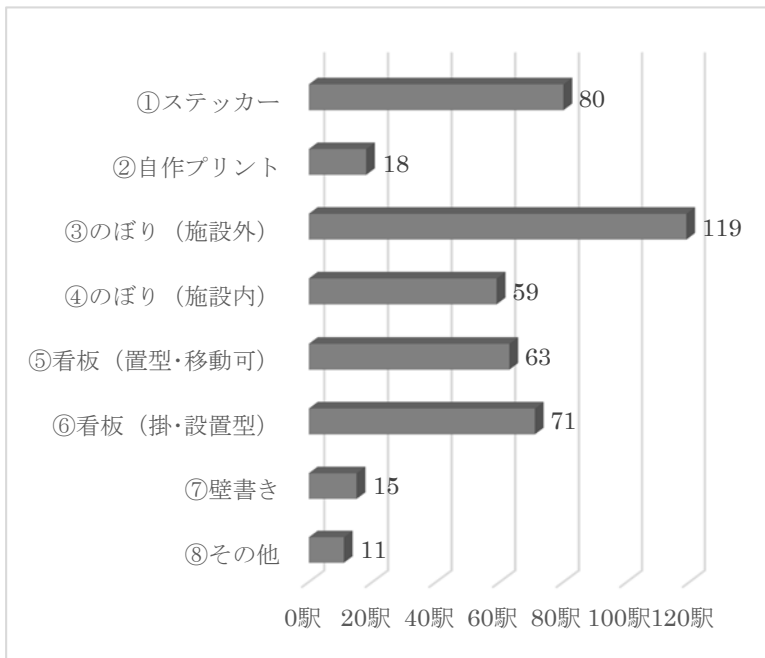


ロゴの数で一番多かったのは、“1 個”と“2 個”が 35%で同数でした。“3 個”の 17%を併せると 87%で、ほとんどの所は 3 個以内です。

一方、多い方では 8 個以上が 3 駅、10 個以上が 3 駅という結果でした。

まちの駅に加入する施設・店舗はまちの駅のロゴマークをつけることが決まっていますが、無回答が 17 か所ありました。

5. どんな種類のまちの駅ロゴマークをご使用ですか。(複数回答可)(回答数 245 駅)



ロゴマークの掲示をどのような形でやっているかを調べた結果、1 番多かったのは施設の外 (前) に置くのぼりでした。これは、全国まちの駅連絡協議会事務局が販売している共通ののぼりを利用してある所や、地域のネットワークが独自に制作したのぼりを利用している所があります。

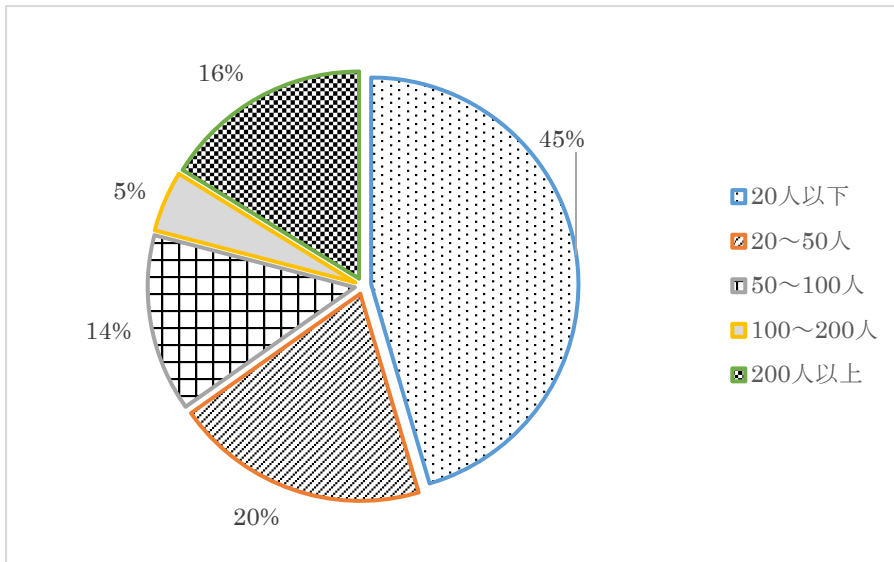
2 番目は同じく事務局で販売しているステッカーを施設入口に貼付する方法です。安くて簡単のため、利用が多いと考えられます。

その他、来訪者へアピールするためにオリジナル看板を掲げる所もあります。

【その他】

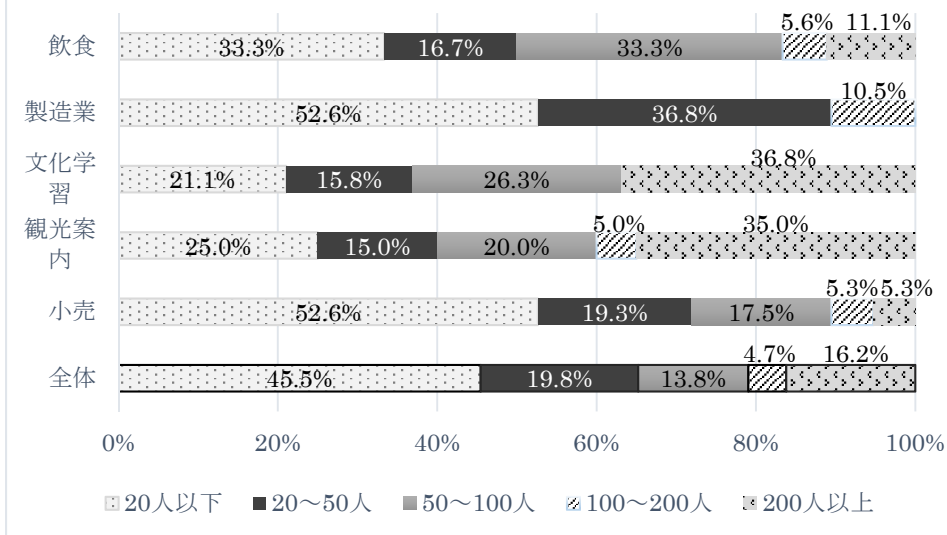
パンフレット、名刺、パンフレット等ラック、駅と同じような看板、額入り、カレンダー、店の広告

6-1. 1日当りの施設利用者は、平均どれくらいですか。(回答数 255 駅)



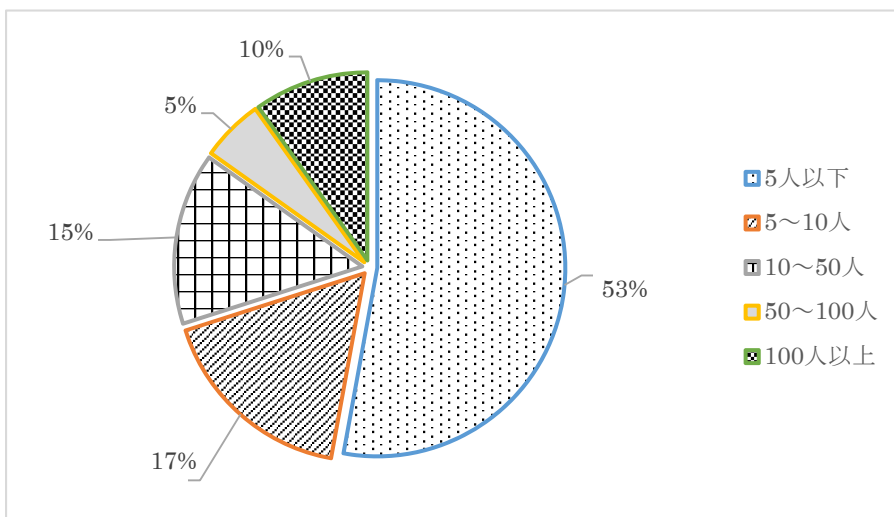
1日当りの平均施設利用者数は、20人以下と回答された所が45%と1番でした。次いで、20~50人が20%となっています。200人以上と回答された所も16%いましたが、回答駅全体で見ると、規模の小さい施設、もしくはお客様との対面販売・サービスでない業種が多いと考えられます。

1日当りの施設利用者数 (主要業態別)



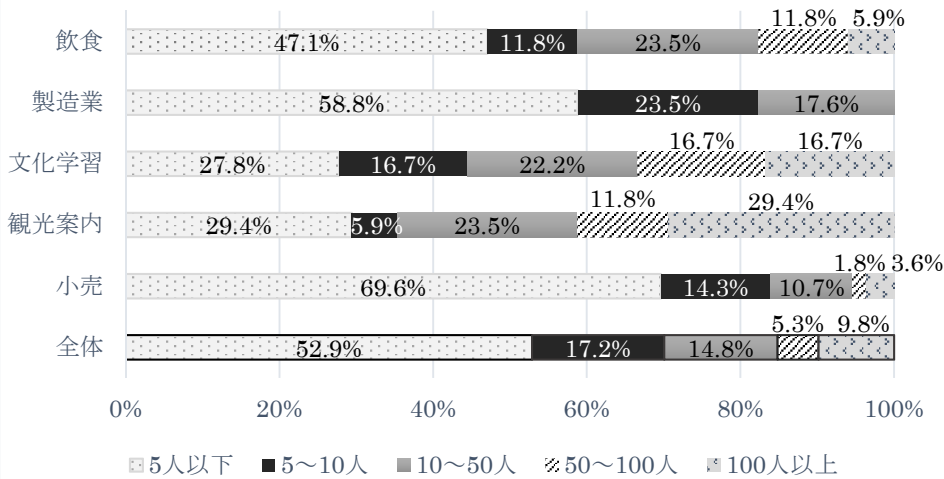
回答の多かった業態を取り上げて施設利用者数を分析しました。その結果、20人以下と回答した割合は、製造業と小売で約半数、続いて飲食が1/3、逆に、200人以上は、文化・学習と観光案内が1/3強を占めて1番高い割合となっています。

6-2. 利用者のうち、トイレ・休憩利用者は、どれくらいですか。



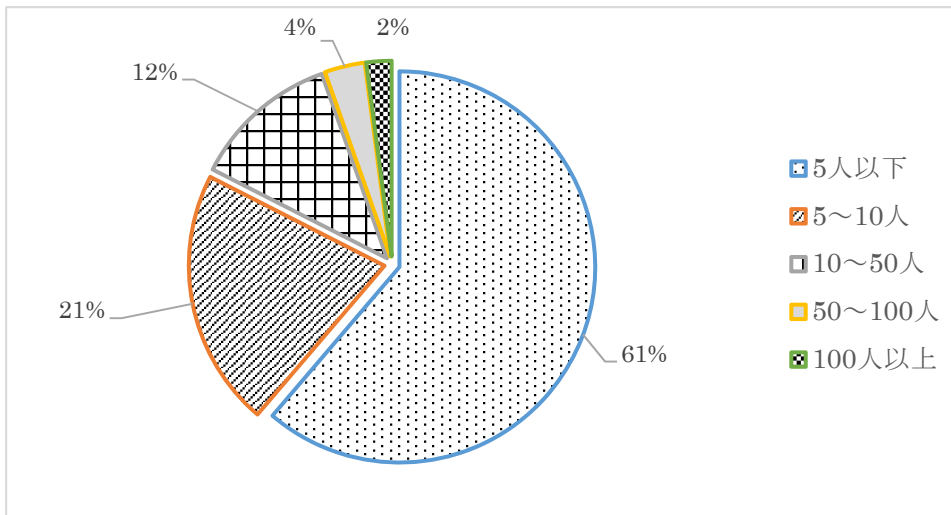
施設利用者のうちトイレ・休憩利用者は5人以下が53%と過半数を越えました。トイレが借りられる、ちょっとした休憩ができるというのは、まちの駅としては大事な機能です。トイレの借りやすさ、休憩しやすさの追求はこれからの課題となります。

1日当たりのトイレ利用者数（主要業態別）



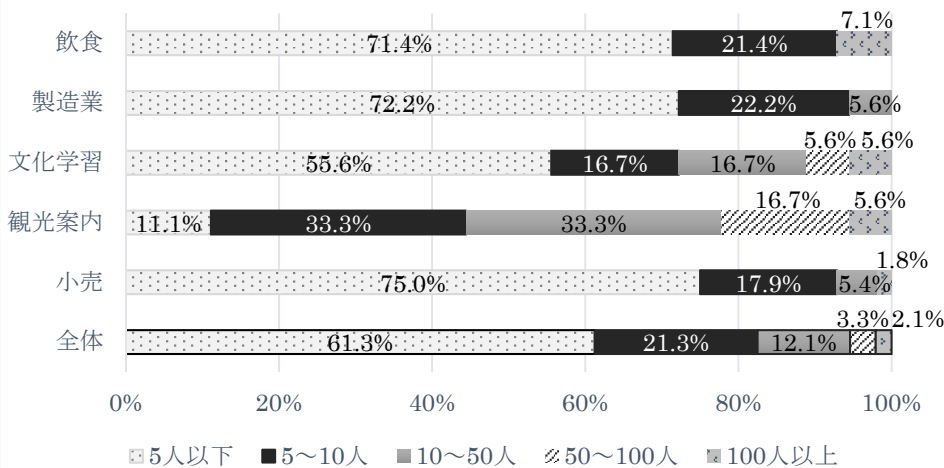
業態別のトイレ利用者数は、施設利用者数と同じ傾向が表れています。近年は、コンビニなどでも気軽にトイレが借りられるようになってきているので、トイレ利用者が増えないということも考えられます。

6-3. 利用者のうち、地域案内利用者は、どれくらいですか。



地域案内利用者は、5人以下の割合が6割以上で、トイレ・休憩利用者よりも利用者数は少なくなっています。1日10人以下の利用が8割を越えます。

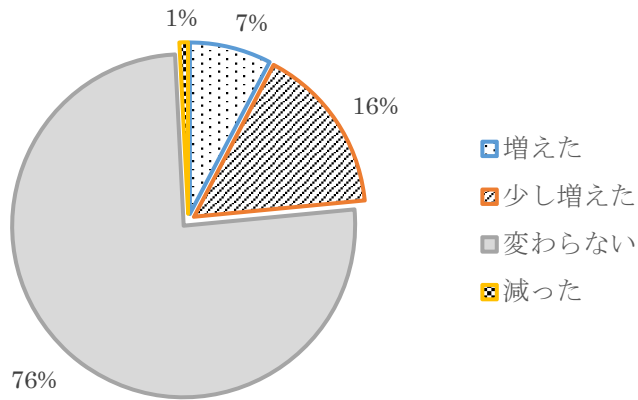
1日当たりの地域案内利用者数（主要業態別）



地域案内利用者数は、当然ながら「観光案内」の業態で高い割合を示していますので、それ以外の業態では、いよいよ利用割合が低いことがわかります。

7. まちの駅になった後で、どのような変化がありましたか。(回答数 252 駅)

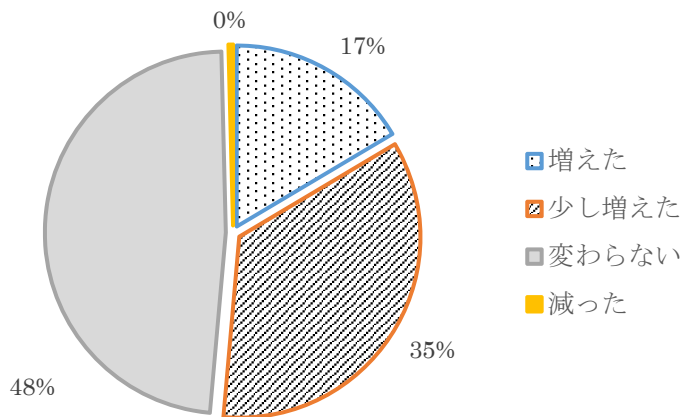
(1)利用者の数



まちの駅利用者数の 3/4 は変わらないという回答でした。一方、「増えた」、「少し増えた」を合わせた合計が 23%でした。

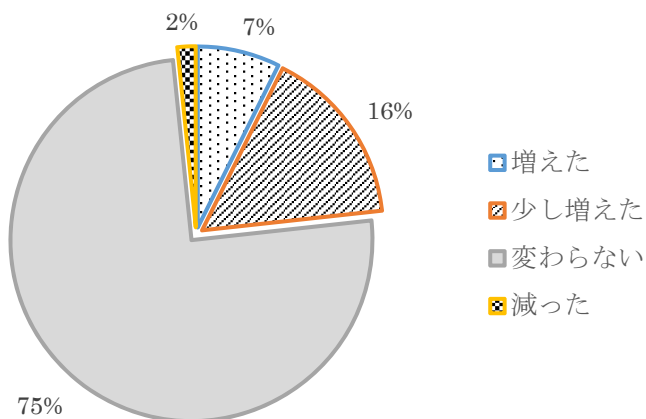
この設問では、まちの駅の機能を求めて利用したかどうかの関連性までは分かりませんが、感覚的な面も含めて、1/4 近くがプラスの効果という回答でした。

(2)地域活動との関わり



地域活動との関わりは、まちの駅としての機能の重要な要素です。アンケート結果では、「増えた」、「少し増えた」を合わせて 50%を超えました。まちの駅として一定程度の効果が出ているのではないかと期待したいところですが、今後、この点についてはさらに詳しく調査をしていきたいと思えます。

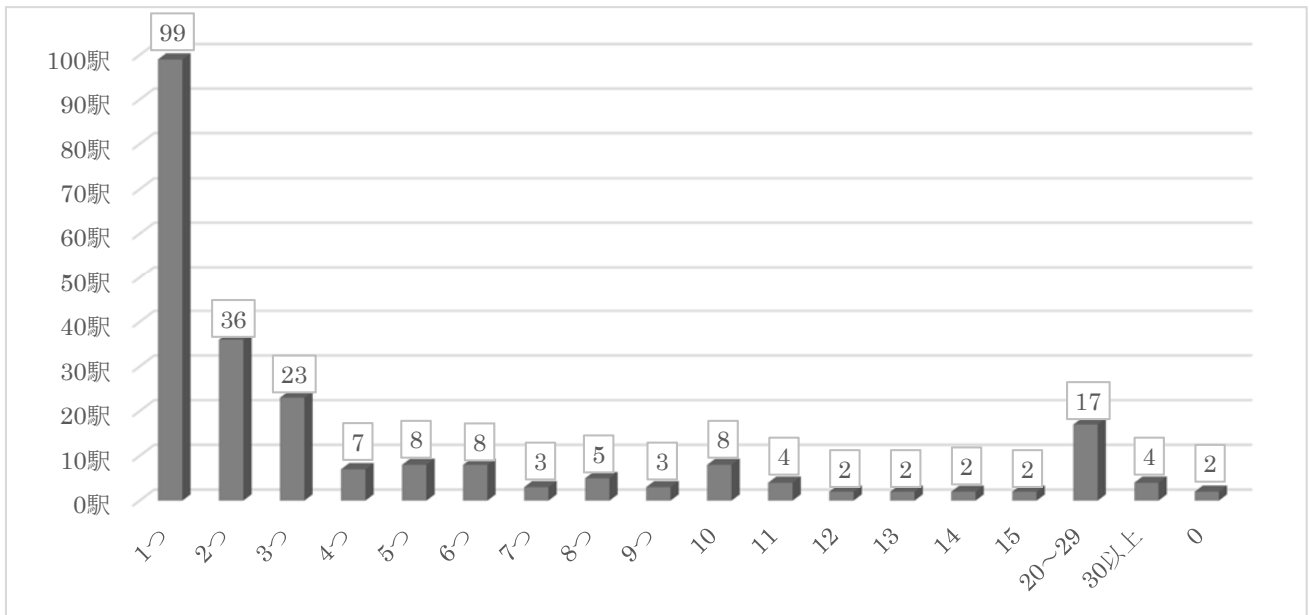
(3)本業の業績



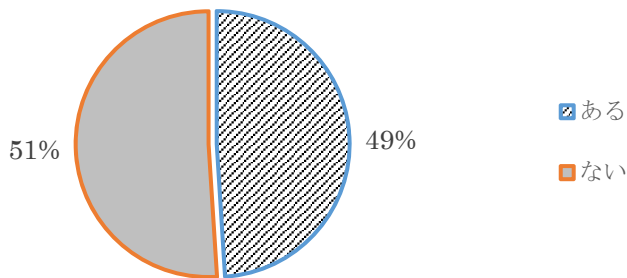
本業の業績については、まちの駅利用者数の 2/3 は変わらないという回答で、「増えた」、「少し増えた」を合わせた合計が 23%でした。おおよそ利用者数の結果と同じ傾向を示しています。

まちの駅の機能は、本業の業績向上に直接つながることは少ないのですが、肯定的な回答が 1/4 近くあったことは、より詳しく調べたい項目です。

8. トイレはいくつ設置していますか。数字をご記入ください。(回答数 232 駅)



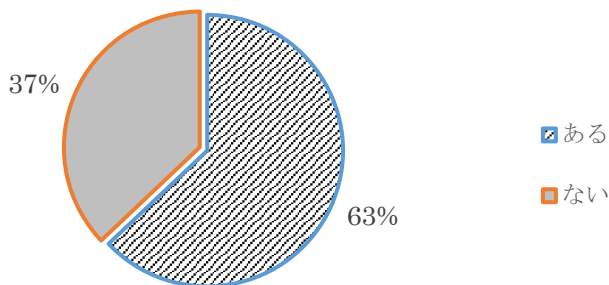
(1)バリアフリー対応のトイレはありますか。(回答数249駅)



トイレの設置数は、1つが1番多く 99カ所、約 43%でした。小規模小売店が多いことに一因すると思われます。

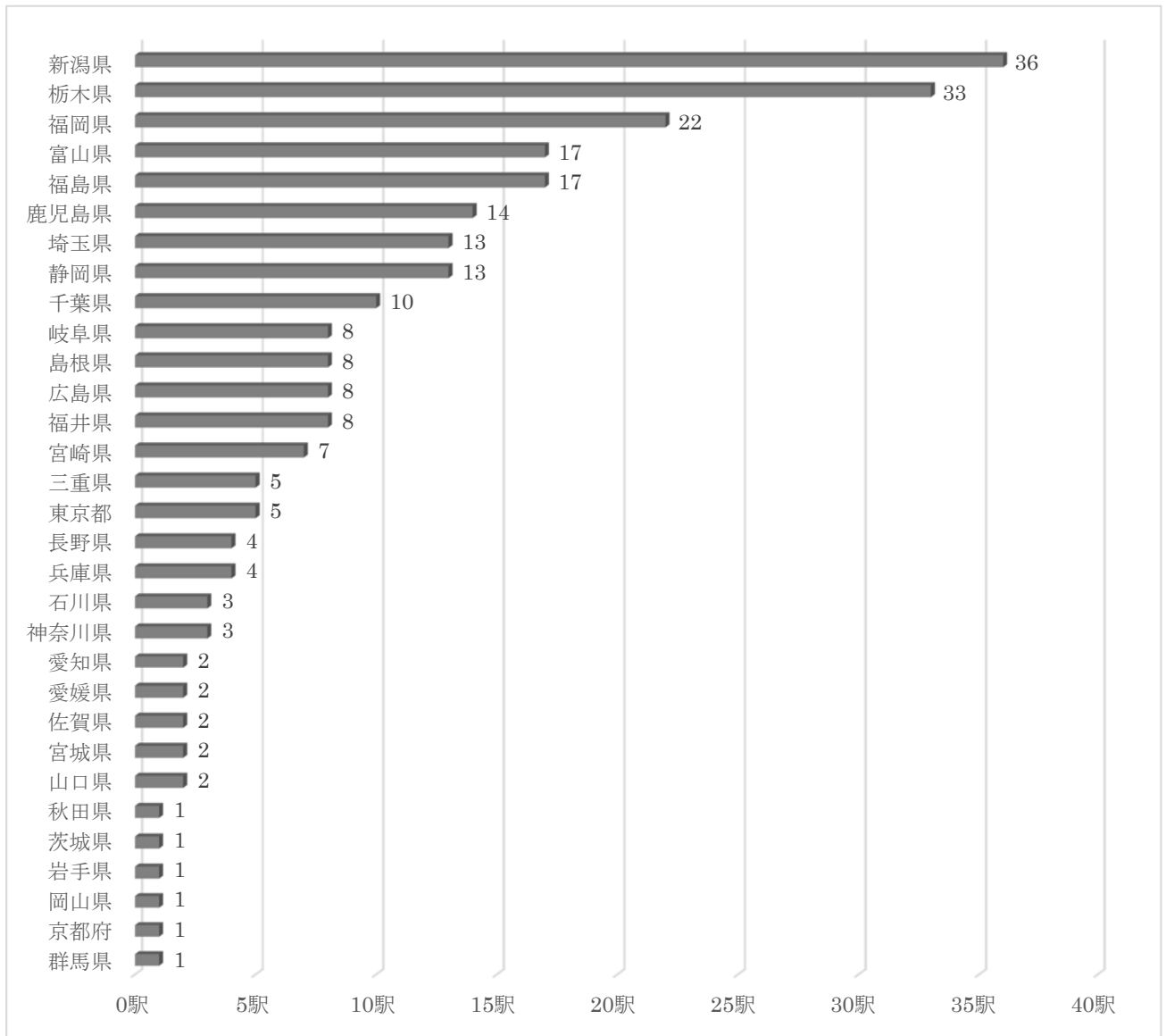
バリアフリー対応のトイレの有無については、約半数があると回答しています。

(2)洗浄便座はありますか。(回答数251駅)



また、洗浄便座の有無については、63%があると回答しました。快適なトイレの提供という意味では、洗浄便座が好ましいと考えます。今後、洗浄便座が増えていくと予想されますので、まちの駅としてこういった取組みができるか考えていきたいと思ひます。

9. 貴施設の設置場所はどこですか。(回答数 254 駅)



最後に今回アンケートに回答していただいた施設の設置都道府県別の数を掲載しました。1位と2位は新潟県、栃木県でした。両県とも県内に複数のネットワークがあり、まちの駅の活動が活発な地域であります。それ以外の都道府県からもたくさん回答いただきました。個人加入の多くのまちの駅からも回答いただきました。ご協力、ありがとうございました。

これからも、魅力あるまちの駅を増やすことを目標に、情報収集・情報発信を強化していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

<アンケートについての問合せ先>

全国まちの駅連絡協議会事務局 (NPO 法人地域交流センター内)

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-7-10 KIビル 3F 電話 03-5823-4190 FAX03-5823-4191

担当：稲葉、橋本